

記入例 ※市町（組合）立学校を例にしています。

番 号
令和 年 月 日

京都府総合教育センター所長 様

市町（組合）立学校の場合、申請者は市町（組合）教育委員会教育長としてください。府立学校の場合、申請者は校長としてください。

申請者名 ○○市町（組合）教育委員会
教育長 京 都 千太郎

物 品 借 用 承 認 申 請 書

京都府総合教育センターの物品を、下記のとおり借用したいので承認くださるよう申請します。

記

1 借用しようとする物品の名称及び数量

- ・Qスイッチ（L）
- ・ビッグスイッチツイスト 各1

事前に特別支援教育部と確認した物品名を記入してください。物品名は「貸出物品一覧」に掲載しています。

2 借用目的又は用途

肢体不自由のある小学校4年生の自立活動で使用

どのような場面で、どのような目的で活用するか記入してください。対象の児童生徒の状況についても記入してください。

3 借用希望期間

令和2年5月1日（金）～令和2年5月29日（金）

事前に特別支援教育部と確認した期間を記入してください。貸出期間は概ね1か月です。タブレットのみ概ね2か月としています。

4 その他

借用する学校 ○○市町（組合）立○○小学校

市町（組合）立学校の場合、借用する学校名を記入してください。府立学校の場合、学校名の記入は不要です。

借用許可条件

- 1 申請の目的以外に使用してはならない。
- 2 申請者以外に譲渡若しくは転貸してはならない。
- 3 申請者は、物品の維持管理について、天災その他不可抗力によるものを除くほか、一切の責任をとらなければならない。
- 4 申請者は、物品の運搬に係る一切を負担することとする。
- 5 物品の使用に係る消耗品については、申請者が負担することとする。